

連合「なんでも労働相談ダイヤル」(☎ 0120-154-052)
2017年6月 相談集計報告

○全体の特徴

- 6月12-13日に「女性のための労働相談ホットライン」(最終集計635件)※を実施したことから、全体件数は1,845件と前年同月より593件増え、女性からの相談も増加している。(※前年度5月実施・最終集計440件)
- 業種別では、「医療・福祉」が18.7%と最も多く、次いで「サービス業」(18.5%)、「製造業」(12.8%)となっている。相談内容では、「セクハラ・パワハラ・嫌がらせ」が20%と最も多く、次いで「雇用契約・就業規則」(9.2%)、「解雇・退職強要・契約打切」(6.9%)となっている。
- 「医院長は指示命令には絶対服従の考え方の持ち主で、仕事以外の休憩時間も家政婦のようなことを指示され、結果として休憩時間がないような状態。意見が言える雰囲気ではなく、言えば恫喝される」「社長からのセクハラを労働基準監督署に訴えて解決したが、その後パワハラが酷く耐えかねている」「社長から抱き着き等のボディタッチが多く苦痛。せっかく正社員で働いているので、首になりたくないで強く言えない」といったハラスメントに関する相談が多く寄せられた。

		2017年		2016年			
集計対象期間		6月1日～6月30日		6月1日～6月30日			
受付件数(受付件数のみ報告分含)		1,845		1,252			
報告(本部・地方)数		48		48			
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	
性別 (未報告除く)	男性	778	42.3%	男性	619	49.0%	
	女性	1,061	57.7%	女性	643	51.0%	
年代 (不明除く)	10代	8	0.6%	10代	8	0.8%	
	20代	184	12.8%	20代	126	12.7%	
	30代	271	18.8%	30代	213	21.5%	
	40代	445	30.9%	40代	328	33.1%	
	50代	331	23.0%	50代	219	22.1%	
	60代	175	12.1%	60代	86	8.7%	
	70代	27	1.9%	70代	11	1.1%	
雇用形態 (不明除く)	正社員	830	48.9%	正社員	589	49.2%	
	パート	358	21.1%	パート	217	18.1%	
	アルバイト	84	4.9%	アルバイト	75	6.3%	
	派遣社員	101	6.0%	派遣社員	87	7.3%	
	契約社員	165	9.7%	契約社員	128	10.7%	
	嘱託社員	16	0.9%	嘱託社員	8	0.7%	
	臨時・非常勤職員	17	1.0%	臨時・非常勤職員	11	0.9%	
	その他	126	7.4%	その他	82	6.9%	
業種(上位) (不明除く)	1位	医療・福祉	244	18.8%	医療・福祉	136	16.7%
	2位	サービス業(他に分類されないもの)	239	18.5%	サービス業(他に分類されないもの)	134	16.5%
	3位	製造業	166	12.8%	卸売・小売業	129	15.9%
	4位	卸売・小売業	147	11.4%	製造業	117	14.4%
	5位	運輸業	95	7.3%	運輸業	84	10.3%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	369	20.0%	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	177	14.1%
	2位	雇用契約・就業規則	170	9.2%	解雇・退職強要・契約打切	151	12.1%
	3位	退職金・退職手続	128	6.9%	雇用契約・就業規則	101	8.1%
	4位	解雇・退職強要・契約打切	127	6.9%	退職金・退職手続	89	7.1%
	5位	年次有給休暇	104	5.6%	賃金未払	66	5.3%
情報源・ルート (不明除く)	新聞・雑誌	138	8.8%	/			
	ラジオ・テレビ	358	22.8%				
	ビラ・チラシ・パンフ(含折込)	169	10.8%				
	ホームページ	555	35.4%				
	SNS(フェイスブック・ツイッター)	23	1.5%				
	紹介(労基署等)	65	4.1%				
	その他	262	16.7%				